

そらこめ通信 No.50 2014.09発行

日頃より弊社のコメをお買い上げいただき誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

8月上旬は雨模様の天気が多く、特に5日未明から降り出した雨はここ沼田町では1日の降水量が100ミリを超える大雨になりました。ただ、幸いそれほど大きな被害もなく済み、お盆を過ぎてから数日雨が降ったものの、8月の後半はどちらかと言えば好天に恵まれるなど普段と変わらぬペースで作業を進めております。国内では、中国・四国地方などを中心に全国各地において大雨による大きな被害が出ています。特に、広島県北部では20日未明に大規模な土砂災害が発生しており、たくさんの犠牲者が出たことに加えて、いまだ多くの方が行方不明になっているとのこと。北海道内においても24日午後、道北の礼文町で土砂災害が発生し、お二人の方が亡くなられています。被害に遭われて亡くなられた方には心よりご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご親族の皆様にも心よりお見舞い申し上げます。まだまだ、災害復旧作業が続いております。この場を借りて一日も早い復興をご祈念申し上げます。

さて、先日新聞紙上にて今年の水稲の作況指数が発表されました。それによると、北海道は106以上で、作柄は「良」とのこと。8月時点の見込みで北海道の作柄が「良」となるのは、2001年の公表開始以来初めてのことです。また、国内における「良」は北海道のみ。北海道と同じ米どころの新潟県、秋田県など10県は「やや良」、栃木県、富山県など8県が「平年並み」だそうです。

コメ余りと言われる中、正直複雑な思いもありますが、「作柄が良い年は味も良い」のが通例。間もなく始まる収穫作業に期待が膨らんでいます。



畦畔の草刈り(8月10日)



畦畔の草刈り(8月18日)



夜高あんどん祭り(8月23日)



あんどんの前棒を担ぐ拓哉さん(左から4人目)とあんどんに乗る拓哉さん(8月23日)



フィナーレを前にあんどんの前で盛り上がる若者たち(左)と終了の花火(中)(8月23日)



8/5大雨による農道被害(8月26日撮影)



出荷を待つ花卉(シネンシス)(写真左)と倉庫に積まれた箱(写真中)(7月31日)



シネンシスの出荷作業(8月1日)



未明から降り出した雨が沢からあふれ出し町道を横断、水田の用水路に勢いよく流れ込む。この日の雨量は102ミリに。(8月5日)



「ふっくりんこ」の圃場(左)と稲穂(中)(8月28日撮影)



「ゆめびりか」の圃場(8月28日撮影)

8月22日(金)～23日(土)の2日間、ここ沼田町は夜高あんどん祭りで盛り上がりしました。今年で38回目を数えたこの祭り。今では道内三大あんどん祭りのひとつに数えられ、今回も多くのテレビ局のクルーが町に入りました。この両日、大勢の観光客が来町しましたが、ふだん街を離れて生活している多くの若者たちもこの祭りに合わせて帰省しました。真に町民が楽しめるこういう祭りを永く続けていきたいものです。これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしく願いたします。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です